



www.alpajapan.org

# 日乗連ニュース

## ALPA Japan NEWS

Date 2003.1.09

No 26 - 17

発行: 日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan

幹事会

〒144-0043

東京都大田区羽田5 - 11 - 4

フェニックスビル

TEL.03-5705-2770 FAX.03-5705-3274

E-mail:office@alpajapan.org

### ISASI2002 参加報告

## Global Challenges in Accident Investigations & Safety Improvements

去る 9 月 30 日から 10 月 3 日にかけて、世界的な安全への取り組みをテーマに、台湾・台北で ISASI2002 セミナーが開催されました。

#### ( 1 ) ISASI について

ISASI とは International Society of Air Safety Investigators の略で、世界の航空事故調査・安全関係者の情報交換と技術の向上を目的に設立された非営利団体です。1964年にその前身である SASI がアメリカで生まれ、その後カナダ、オーストラリアで同様の団体が組織されました。やがて35ヶ国100名以上の会員を数えるに至り、1977年に現在の国際組織となりました。地域ごとの活動に加え年一回の総会とも言える Seminar が世界各地で開催されています。今年も、極東での開催にも関わらず26カ国から約180名の参加がありました。

#### ( 2 ) TUTORIAL ( 講習会 )

初日に講習会が、事故調査スキル向上の目的で”Incident Investigation” ”DFDR Workshop”の二手に分かれて行われました。

#### ( 3 ) セミナープログラム

台湾総統の挨拶で始まった3日間のセミナーは、次の5部に渡りました。5つの基調講演と21の発表があり、各セッションの終わりには活発な質疑応答が行われました。

#### 「最近の調査の教訓」

コンコルド事故調査の発表が仏 ( BEA ) 英 ( AAIB ) 双方からありました。仏は技術的な部分、英は両者の歴史文化の違いも交え共同調査の難しさについて述べていました。また日本の鉄道・航空事故調査委員会が日本航空ニアミス事故について発表しました。ほぼ事実経過のみでしたが、刑事責任の追及はあるのか? JAL の当時の SOP では機長が TCAS を無視できたというのは本当か? といった質問がありました。



### 「安全向上への努力」

中華航空からは FOQA プログラムへの取り組みと成果が発表されました。運航現場やメーカーへの提言、オートランド禁止空港の設定などかなり積極的に取り組んでいる印象でした。将来的にはデータリンクによる運航の常時モニターを目指しているようです。また、オーストラリアの事故調査委員会からは、犯罪捜査と事故調査を明確に分け、事故調査機関が最優先で活動できるような法案が紹介されました。実現すればニュージーランドの CVR 使用規制に続き画期的な法律が誕生することになります。

### 「最新の事故調査技術」

今後の飛行記録装置については、全て 2 時間になり、2 時間 10 分の自立電源が必要になる、とのことでした。データリンクによる記録の有効性、実際にエアバスのテストフライト中の事故がデータリンクで解析できた事例の紹介もありました。

### 「国際協力と協調」

ドイツ事故調査委員会 (BFU) から、スイス上空の空中衝突の調査経過について発表がありました。また、US ALPA の「犯罪捜査と事故調査」では、JL706 便の事例も紹介され、世界的にも犯罪捜査と事故調査の線引きが問題になっていることを印象付けました。

### 「ヒューマンファクターズ」

クロスエア BAe146 や TU154 のゴーアラウンド時の事故例を取り上げ、ゴーアラウンドの判断を妨げる要因や訓練などについて、ヒューマンファクターの専門家が研究発表を行いました。航空運送業の場合、「不安全要素は営業の妨げになる。ゴーアラウンドは、特定の状況で確実に安全度を上げる」とのことでした。ちなみに TU154 機のパイロットは、ゴーアラウンド時の燃料代 (1 回約 500L=US\$250) を自腹で払わなければならなかったそうです。それは極端な例としても、誰もが経験している定時運航の圧力もゴーアラウンドを躊躇する大きな要因として取り上げられていました。

### セミナーを終えて

安全向上への世界的な取り組みには、航空局や事故調査機関、製造者、航空会社や軍などのユーザーも含む業界全体の密接な連携が必要です。幅広い分野の人々が集まる ISASI の果たす役割は今後も大きいでしょう。

尚、今回持ち帰った講演資料 (印刷物、CD-ROM) はフェニックスビルの ALPA-JAPAN 事務所で閲覧が可能です。以下のホームページも参考にして下さい。

ISASI <http://www.isasi.org>

台湾飛行安全委員会 <http://www.asc.gov.tw>